

平成 29 年度第 1 回千曲市健康づくり推進協議会 会議概要

日 時 平成 29 年 8 月 4 日 (金) 13:30~15:00
会 場 千曲市役所 更埴保健センター3 階 集団指導室
出席委員 12 名 (代理主席者含む)
欠席委員 1 名
事務局 6 名 (市長 健康福祉部長 健康推進課長 母子保健係長
健康づくり係長兼精神保健係長 精神保健係主査)

<開会の前に市長より委嘱書の交付>

会議日程

- 1 開会
- 2 あいさつ 市長
- 3 自己紹介 各委員・事務局

坂田課長 <千曲市健康づくり推進協議会設置要綱第 6 条より会議が成立していることを報告>

4 会議事項

(1) 副会長選出

副会長 横嶋 とよ美

(2) 平成 28 年度保健事業報告、平成 29 年度保健事業進捗状況について

事務局から保健事業報告・度保健事業進捗状況を説明

委 員：前立腺がん検診の 50 歳から 64 歳までが二桁の受診者なのは毎年のことなのか教えていただきたい。

事務局：平成 27 年度の受診者は、65 歳以上が約 200 名であり、50 歳から 54 歳までは 32 名、55 歳から 59 歳までが 39 名、60 歳から 64 歳までが 93 名で、例年並みの数値です。

委 員：千曲市の課題について教えて欲しい。

事務局：千曲市の健康実態は、メタボ該当者が多く、また、HbA1c が高値で糖尿病の方が多いため、糖尿病等の重症化予防対策として、透析等にならないよう訪問等による保健指導を実施し、食事指導、メタボ改善等の支援をしていきます。千曲市の食品摂取の実態としては、小麦粉、油、塩分、糖分が多いと思われま。その結果、特定健診の結果では、身長と体重のバランスで BMI、腹

囲が多いことが 19 市と比較してワースト 2 位、中性脂肪、血糖値が高いことがワースト 4 位という状況になっています。(千曲市健康づくり計画概要版より)

(3) 「^{ヘルス}健康アップ千曲 21 (第二次)」中間評価について

事務局から^{ヘルス}健康アップ千曲 21 (第二次) 中間評価業務年間計画を説明

委員：高齢化社会での健康寿命の延伸において、高齢者への健康が重要になってくるが、「^{ヘルス}健康アップ千曲 21 (第二次)」では高齢者の痩せや低栄養、低蛋白、フレイル等がないため、次の段階では新しくあげていただきたい。また、若い世代の健康意識が欠けており、食に対する意識も低い。この世代に健康意識を高めてもらうため、若者の健診を無料にする等もひとつの方法だと思う。

委員：高齢者の問題としてサイコペニア（筋力が落ちる状態）、また、フレイルも予防していくよう言われている。メタボリックシンドロームと同様、市民に広報活動してほしい。また、若者に対する健康教育は大切なことから、メタボリックを予防する意味でも健康教育に力を入れていただきたい。

委員：将来的な胃がんリスク減少のため、高校生、中学生への胃がん検診を行う等、新しい試みを考えていただきたい。

5 その他

(1) あん姫いきいき体操

委員：千曲市職員もあん姫いきいき体操をみんなで実施し PR していただければと思う。また、ケーブルテレビで毎日同じ時間に流して PR していただきたい。

事務局：職員の体操実施については、窓口対応もあるため検討させていただきたい。

6 閉会